



美祢市病院事業管理者
高橋 陸夫

新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、7月の西日本を襲った豪雨、7・8月の酷暑、更には9月の台風21号や北海道胆振（いぶり）東部地震など自然災害が多い年でした。よいニュースでは、6月にシンガポールで開催されたトランプアメリカ大統領と朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）の金正恩最高指導者との初めての米朝首脳会談（本稿を書いている11月末では、その後の進展はありませんが）、10月の本庶 佑 氏のノーベル生理学・医学賞の受賞、11月にはiPS細胞由来の神経細胞をパーキンソン病患者さんの脳に移植した事例がありました。これは2014年と2017年に、眼の網膜疾患である「加齢黄斑変性」の患者さんにiPS細胞から分化・誘導した網膜細胞（神経細胞）を移植した事例に続いての出来事です。このように、今後はiPS細胞やES細胞を使った再生医療が最先端治療法の1つとなるはずです。また、ICT（情報通信技術）やAI（人工知能）などの進歩・発展により、医療の現場においても、診断・治療面での革新が起こってくるのが期待されています。

今年の美祢市におけるニュースとしては、市の少子化対策の一つとして、4月から、美祢市立病院の職員駐車場の一角に、「病児保育施設」が開設されます。この施設は、子供さんが風邪などの病気にかかったが、親御さんに勤めがあって付き添いが出来ないような場合に、一時的にあずかってもらえる施設です。詳細な情報は、市の広報などでお知らせがあると思います。これにより、子育て中の人にとっては、勤めを休まなくてすむようになります。

さて、昨年も本欄に少し書きましたが、「地域包括ケアシステム」すなわち「高齢者の方が住み慣れた地域で自分らしい生活を全うできるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される仕組み」を整備する必要があります。中でも基本となるのが地域で生活を継続するための「住まい」です。たとえ具合が悪くなくても自宅での生活ができるのであれば、それが一番いいことであると思います。しかし、心身の状態や家族環境など高齢者の状況はそれぞれに異なります。高齢者の個々のニーズに応じて、自宅はもちろん様々な施設を「住まい」の選択肢と考えていかざるを得ません。自宅からときどき施設へ、施設から自宅へ、そして必要ならば病院に一時入院して施設や自宅へ戻るといった、「住まい」についての柔らかな考え方が必要となっています。そして、その「住まい」で自分らしく暮らし、必要な医療と介護を受けられ、病気が回復し重症とならない、要介護にならない、重度化しない環境づくりこそが「地域包括ケアシステム」の大きな柱であると思います。ぜひ、多くの市民の皆さんに関心をもっていただきたいと思います。

また、本年8月に、「やまぐち地域医療セミナー2019 in美祢」を開催する予定です。このセミナーの目的は、「地域のスタッフや地域住民とのコミュニケーションをはかり、地域の生活や医療の現状を直接肌で感じ、将来の地域医療のあり方について考える」ことです。自治医科大学と山口大学医学部の学生に加えて、山口大学や県立大学の看護学科の学生の参加が予定されていて、訪問介護や訪問診療など、地域における医療・介護の実体を重点的に体験してもらいます。このセミナーにより、一人でも多くの医学生や看護学生が美祢市に興味を持ち、美祢市の医療を支えてくれるようになればと願っています。

以上、年頭にあたり、皆様方のご協力をお願いするとともに、本年も宜しく願い申し上げます。

問い合わせ先 経営管理課☎0837(52)1700

図書館だより

美祿図書館より休館のお知らせ

年度末図書点検を行います

利用者の皆さんにはご迷惑をお掛けしますが、よろしくお願い致します。

休館期間 1月28日月～2月4日

長期休館に伴い美祿図書館では、**1月16日水から1月27日**までの期間について、**図書のみ貸出冊数を10冊まで増冊**します。休館中の返却については、美祿図書館玄関の返却BOXをご利用ください。

絵本の読み聞かせ

1月は、お休みです。

2月は、カルタ会

日時 2月9日 14時～15時30分

場所 美祿図書館 2階 視聴覚室

いろいろなカルタを準備して、皆さんをお待ちしています。



1月の休館日

1月1日 1月3日 1月7日 1月14日 1月15日
1月21日 1月28日 (美祿図書館のみ：28日～2月4日)

今月の一冊

「刑務所でマンガを教えています。」

苑場凌&JKS12 著

美祿市の実話マンガ

幕末から刑務所へ。幕末志士がつかないマンガ道

受刑者にマンガの背景を教えている「美祿市ふるさと交流大使 苑場凌先生」の実録ノンフィクション漫画。

会津の白虎隊の生き残りが、密かに長州で養育されていた。150年前の秘話もたらす奇跡…。



美祿図書館新刊図書案内

黒猫のいない夜のディストピア
(黒猫シリーズ7)

森 晶磨 著

われは歌えどもやぶれかぶれ

椎名 誠 著

市内の図書館の本は、各図書館窓口で貸出申込されると、取り寄せて借りることができます。

問い合わせ先 美祿図書館 ☎0837(52)0213

美東図書館 ☎08396(2)5555

秋芳図書館 ☎0837(62)1925

秋吉台国際芸術村 イベント情報

アーティスト・イン・レジデンス trans_2018-2019

1月から3月の65日間、国内外の6組8人のアーティストが芸術村に滞在し、「この土地の未来」をテーマに創作活動を行うとともに、さまざまな地域交流に取り組みます。

○滞在予定アーティスト

ミカ・カビルド(インスタレーション、グラフィックアート/フィリピン)

ポール・オマージュ&ユミ・タケウチ(映像、インスタレーション/フランス、日本)

片岡純也+岩竹理恵 (ビジュアルアート/日本)

ジョン・イ (ビジュアルアート/韓国)

チェン・リャン・シャン (映像/台湾)

ジョエル・チン(彫刻、インスタレーション/シンガポール)

○滞在期間 1月9日 3月14日

オープン・スタジオ

アーティストの制作スタジオを公開します。英語通訳もありますので、ぜひ遊びに来てください。

●日時 1月27日 14時～16時

※参加無料・事前申込み不要



ポスコン?! 2019

恒例のポストカードのコンテスト「ポスコン?!」。ハガキサイズで表現できるものなら、「言葉」「絵画」「写真」など、ジャンル・手法は問いません。

応募作品は全て芸術村ギャラリーで展示するほか、優秀作品にはポスコン賞をはじめ様々な賞を用意しています。



作品募集締切 1月12日 必着

展覧会

●会期 1月14日 2月11日 10時～17時

●会場 秋吉台国際芸術村ギャラリー

授賞式

優秀作品の発表と授賞式を行います。

優秀作品は芸術村ホームページで公開します。

●日時 1月27日 13時20分～

問い合わせ先 秋吉台国際芸術村 事業企画課

☎0837(63)0020 ☎0837(63)0021 [✉info@aiv.jp] [🌐http://www.aiv.jp]